

スレート屋根、折板屋根に設置可能 「超軽量」産業用太陽光発電パネル

(株)川口スチール工業

昨年11月、鳥栖市の屋根外壁工事、太陽光発電事業の(株)川口スチール工業(川口信弘社長)にギニアの駐日大使が訪れた。同社が圧倒的に軽い太陽光発電パネルを持つことをギニア側がインターネットで見つけ、直接見に来たのだ。ギニアでは電気の供給不足で、一般家庭では懐中電灯などで生活することも珍しくない。その中で、同社の軽い太陽光発電パネルであれば現地のわらぶき屋根にも設置できるのだ。「これで電気が止まっていなくても明かりがつく」と、市民からも期待されている。現在、実証実験を進めているところだ。

こういった太陽光発電パネルの「荷重問題」は、日本国内でも言えること。川口社長は「重いパネルを設置できずに断念する企業も多いのでは」と指摘する。同社は国内で企業の工場や倉庫の屋根に向けた産業用の太陽光発電パネルを販売、施工し、屋根の上のスペースの有効活用を提案している。企業にとっても太陽光発電による効率や売電収入は魅力。しかしこ

こで問題となるのがパネルの重さ。というのも国内の工場や倉庫はスレート屋根(一説には全国のスレート屋根の総面積は15億㎡という)や折板屋根がほとんど。一般的に、その余力荷重は約10㎏に対し従来の太陽光発電パネルは約20㎏と、重くて設置できない。設置するには補強工事も必要になるし、重量のせいで目一杯設置もできない。その点、同社の太陽光発電パネルは約8㎏という「圧倒的軽さ」でスレート屋根、折板屋根に設置可能。補強工事もいらない。曲面にも対応できる。

現在、佐賀県の公共施設や養殖場(1MW)、福岡県小郡市や岐阜県の物流倉庫などに設置。大手企業からも問い合わせがあつている。引き合いは国内にとどまらず前述のギニアのほか、ケニア、ベルギー、アブダビや東南アジアからの新会社も設立した。「圧倒的軽さ」で荷重問題を解決した同社の太陽光発電パネルに世界から注目が集まる。

工場や事務所のスレート屋根、折板屋根に設置可能な「圧倒的軽さ」の太陽光発電システム

Luz-solar NEO Industrial Solar Battery

一般的な建物の余力荷重 **約10kg/㎡** < 一般的な太陽光パネル **約20kg/㎡**

一般的な太陽光パネルは重すぎて産業用建物には設置不可能なことが多い!

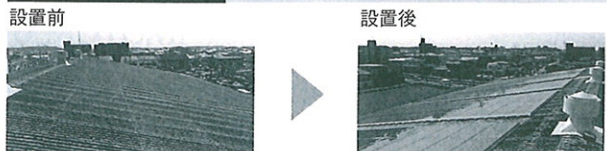
一般的な建物の余力荷重 **約10kg/㎡** > ラズソーラー・ネオなら **約8kg/㎡**

超軽量・補強工事も必要なし

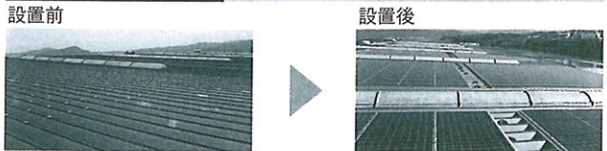
ギニアで実証実験中

ケニア、ベルギー、アブダビ、他東南アジアからも引き合いあり

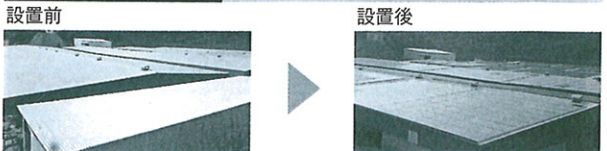
【施工事例】スレート屋根 発電規模:126.0kw 設置面積:900㎡



【施工事例】折板屋根 発電規模:199.8kw 設置面積:1423.3㎡



【施工事例】畜産波板 発電規模:1008.0kw 設置面積:7200㎡



(株)川口スチール工業

佐賀県鳥栖市原町760-6
TEL: 0942-83-6331 FAX: 0942-85-2612
mail@steel-k.com